

令和6年

多気営農センター たよい11月号

11月になり『柿』『伊勢いも』の出荷が最盛期を迎えています。伊勢いもについては、品質、形状も良く、昨年よりは小玉傾向ですが収量は期待できそうです。柿については、今年度日焼け果が多く発生しましたが、例年並みの出来で出荷量は昨年並みを見込んでいます。品質についても、台風の影響もほぼなく、品質・糖度高く、食味も良好です。

また、秋冬野菜に関しては台風等の大きな被害もなく播種、定植も順調に行われ、10月中旬以降は天気にも恵まれ、気温も高く推移した事から生育は順調に推移しています。

STOP！白アリ被害

突然ですが、皆さん白アリってご存知ですか？「白い色をした無害なアリじゃないの？」何をおっしゃいます！？無害などとんでもございません！



・シロアリとは、**木造家屋などに棲みつき木材を食い荒らし**、さらには強靱な大アゴでコンクリート・鉛までも噛み砕き家屋に甚大な被害を及ぼし、**最悪家屋の倒壊へ**と繋がる恐れがあります。

○こんな症状がでたら・・・すぐJAへ

- ・羽アリまたは羽アリの羽が落ちている
- ・床がゴワゴワする
- ・木の柱がボロボロ



シロアリはJAへお任せください！！

床下の無料調査

安心の5年保障

丁寧な薬の散布

問い合わせは、多気営農センターまで！

お知らせ



OJAのおせち料理

毎年好評をいただいています。是非ご利用下さい。

※注文書につきましては、多気営農センターに用意してあります。電話での注文もお受けしますので宜しくお願い致します。

申込締切 令和6年11月25日(月)まで お届け日 令和6年12月29日(日)

栽培情報



かき



今年は10月16日より共撰出荷が始まりました。出荷は無理をせず着色基準等を守り良い物を計画的に出荷しましょう。また、収穫作業が忙しい時期ですが、お礼肥の施用がまだの方は今月中旬までには終わるようにしてください。落葉期が近づくとつれ吸肥力は低下します。施肥量は10aあたりエコ化成を80~100kg施用します。

土壌改良剤の施用 果樹園の土壌は毎年の化学肥料の施用等で酸性を示すものが多く、極端になると養分の吸収が阻害され苦土、ホウ素等の欠乏を招き生育が悪くなってきます。土壌改良として石灰の施用を行いましょう。

土壌pHが低い園地では苦土石灰を施用し石灰補給主体の園地はサンライムを施用します。

☆標準施肥量 苦土石灰 200kg/10a 又は サンライム 120kg/10a



みかん



秋肥の施用・・・秋肥は樹勢の回復、耐寒性の向上、花芽分化の促進、萌芽や開花を順調にする効果があります。肥料は、気温が下がると吸収されにくくなるので、今月上旬までには施用しましょう。

☆標準施肥量 青島専用配合 120kg みかん配合 120kg
有機化成A805 80kg

☆貯蔵病害予防 トップジンM水和剤 2,000倍 (収穫前日まで)
散布時期 ⇒ 11月上旬(収穫前日まで)

○水稲培土・肥料・農薬の注文について

今年度配布させていただきました注文書の期日が、11月末日となっておりますので注文を希望されます方は、ぜひこの機会にご注文いただきますよう宜しくお願い致します。

○廃棄農薬回収のお知らせ

JA多気郡広報誌のはばたき12月号に記載させていただきますが、廃農薬の回収を実施させていただきます。処分に困っている農薬を、有償ではありますが、回収させていただきます、適正に処分させていただきますので、是非ご利用下さい。

- ・回収日時 ⇒ 令和7年1月10日(金)午前9時~11時まで
- ・必要準備物 ⇒ 印鑑・処分費用(当日現金にてお支払いいただきます)

※詳細については、はばたき12月号をご確認下さい。

肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは

多気営農センター 39-6170 まで 担当の営農指導員が対応致します。